絆

名護市立東江中学校
名護市大東二丁目１番１号
Tel　(0980)52-1225
Fax　(0980)52-1226
□発行 校長 島袋賢雄

それぞれの道へ
第45回 卒業式

今月十一日に第45回卒業式を挙行し、一一六名の卒業生を送り出しました。新型コロナウイルス感染症に翻弄された二年間でしたが、あたたかく和やかな雰囲気の卒業式でした。卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍の中、何ができるかを考え、みんなで力を合わせ工夫しながら様々な壁を乗り越えてきた卒業生を誇りに思います。好天にも恵まれ万感の門出となりました。

卒業の歌
伴奏：野原　奈月さん
指揮：渡具知武斗さん

九カ年皆出席賞授与
真栄田幸義さん親子

答 辞
大城あみんさん

送 辞
宮里　爽那さん

記念品贈呈
上江洲隆輝さん親子

保護者代表挨拶
大城　徳子さん

卒業式　式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日ここに中学校の全課程を修了し、卒業の日を迎えました。様々なことを乗り越え、今日という日を迎えた皆さんを、教職員一同心より祝福いたします。

二〇一九年十二月に最初の症例が確認された新型コロナウイルスは、瞬く間に全世界に広がり、いまだ終息が見えていません。これに対し、「全国一斉の臨時休校」や「分散登校」「オンライン学習」といったこれまでになかった対応も含め、様々な活動に制限が掛けられ、皆さんの中学校生活も大きな変化を余儀なくされることなりました。しかし、この二年間、コロナ禍の中、現実をしっかりと受け止め力強く歩もうとする皆さんの姿が随所に見られました。生徒会活動や部活動をはじめ、日々の学校生活において、この状況下で、何ができるかを考え、皆で力を合わせ工夫しながら前向きに取り組む姿は実に頼もしい限りでした。さらに、今年に入って、コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るい、始業式直後、一ヶ月近く、登校制限がかかりました。通常登校開始後、お互いで声を掛け合い、早朝、放課後、休日も学校に足を運び、自主的に学習に向かう皆さんの姿がありました。たくさんの変化や制約の中でも、思いやりの心を持って、仲間と支え合いながら学校生活を秩序あるものとして全うしてくれました。皆さんの頑張りは、東江中にとって大きな財産であり、本校の歴史に新たな一ページを残しました。将来、このコロナ禍を振り返るとき、私は第45期生の皆さんのことを、厳しい状況下にあっても、本校の校訓「不退転」の意志を持って、皆で協力し、支え合いながら乗り切っていった学年として記憶にとどめていることでしょう。皆さんの頑張りに心から敬意を表します。

さて、皆さんが進むこれからの社会は、一年一年社会の在り様が変わり続け激しい変革の社会となることでしょう。このような将来に向けて旅立つ皆さんへ、心に留めておいてもらいたい一つの言葉を紹介します。それは「感謝」です。いうまでもなく、人間は一人では生きていけず、さまざまな人間関係のなかで、社会生活を送っています。その関係性が、ときに自分の立ち位置さえも見失いがちな社会の中で、「自分はどうしなければならないのか」を示唆してくれるのです。あなたを励ましてくれる声や困ったときに助けてくれる友人、耳の痛い諫めの言葉を投げかける大人や先輩など、すべてがあなたの財産となります。感謝の気持ちを失うと、周囲からあなたに寄せられる気持ちは届いてきません。真意を理解し、受け止めることが自分を向上させるためには必要です。自分にとって都合がいいのか否かに関わらず、身の回りのすべてに感謝することを忘れないでいてほしいと思います。誰もが口にする言葉ですが、周囲の人との関係性を有意義なものにし、自分らしさを見失わないために、何事にも「感謝」の気持ちを忘れず、これからの人生を一歩一歩歩んでほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。特にコロナ禍でのご心配やご苦労も多かったこととお察しいたします。そのような中、本校の教育活動にお力添えをいただきましたことを心からお感謝を申し上げます。これから子どもたちは、様々な困難に出会い、迷ったり、挫けそうになったりすることもあるかと思います。どうぞ、これまで通り温かく子どもたちを見守り、励ましていただきたいと思います。

結びになりますが、本校を巣立ち、新たなステージに向けて船出する皆さんの健康とこれからの歩みに幸多かれとお祈りし、式辞といたします。

名護市立東江中学校　校長　島袋賢雄